

令和7年度 第2回学校給食用物資選定懇談会 議事録概要

- 1 **日時** 令和8年2月5日（木）午後3時から午後4時10分まで
- 2 **場所** 学校給食センター 会議室
- 3 **議題**
 - (1) 学校給食用物資選定懇談会について
 - (2) 令和8年度上半期（4月～9月）使用物資について
 - ア 学校給食用物資について
 - イ 一般物資について
 - ウ 選択制物資について
 - エ 新規物資について
 - (3) その他
- 4 **出席者** 釧持ゆか校長、藤原克彦校長、瀧口春美学校栄養職員、安積春奈学校栄養職員、中村舞衣学校栄養職員、鈴木淳子栄養教諭、飯島里美栄養教諭、戸谷瑞紀学校栄養職員
- 5 **欠席者** 生田目匠保護者の代表、高橋恵子保護者の代表、
- 6 **事務局** 吉澤保健給食課長、鈴木給食係長、増田
- 7 **議事概要**
 - (1) **開会**
 - ア 保健給食課長挨拶
 - (2) **議題**
 - (1) 学校給食用物資選定懇談会について
事務局より学校給食費の公会計化に伴い、学校給食用物資については、小田原市で選定することとなった。この会は、学校給食用物資の選定にあたって給食関係者から意見を聴取するために設置するものであると説明。
 - (2) 令和8年度上半期（4月～9月）使用物資について
 - ア 学校給食用物資について
物資資料の資料1 学校給食用物資について、事務局から説明、質問なし。
 - イ 一般物資について
資料2 令和8年度上半期一般物資一覧について事務局から説明。

【保健給食課長】値上げ率の高いもののうち、(調味料等を除き)使用頻度の多いものはどれか。

【事務局】チキンナゲットが比較的使用頻度もあり、値上げ率が高くなっている。

ウ 選択制物資について

資料3 令和8年度上半期選択制物資について、事務局から説明、質問なし。

エ 新規物資について

新規物資について事前に栄養教諭及び学校栄養職員から希望を募り、それらの物資について各ブロックから希望理由について説明を受けた。業者からの新規登録物資用の必要書類を審査し、資料4に一覧、資料5に詳細を示し、新規登録を考えていると説明。

その後、新規物資④国産鮭ボールCa、新規物資⑥⑦フレンズクレープ、新規物資⑨給食とんかつ(35)、新規物資⑩しゅうまい(かながわ夢パーク入り)について、試食を実施。

○各ブロックからの希望理由についての説明○

【第4ブロック 鈴木栄養教諭】

第4ブロックでは、新規物資①たけのこ水煮(角切)を希望した。理由は、切る手間が省けることや大きさがちょうど良く、ジャージャー麺やマーボー豆腐に使用したいためである。②かえり煮干しを希望した理由は、現在選定されているものは、大きく小さいものしかないが、これは大きさもちょうど良く、値段も手ごろのため希望した。③打豆は、大豆の料理を多く取り入れたいことや豆は丸いものだけではないということ子どもたちに教えたいため希望した。④国産鮭ボールCaは、魚の回数を増やして使用したいが、価格が暴騰しているため難しい。子どもたちは鮭が好きなので、スープや焼物、煮物に加えて使用できるのではと思いを希望した。

【第2ブロック 安積栄養士】

第2ブロックでは、新規物資⑤冷凍豆腐国産サイコロワイド、⑥⑦フレンズクレープを希望した。⑤冷凍豆腐国産サイコロワイドを希望した理由は、現在選定されているものよりも大きめの規格があれば良いと思ったため。現在、豆腐屋の割当がない学校もあるため、マーボー豆腐や豆腐のチャンプルーなど少し大きめの豆腐を使用したい場合があるため、希望した。⑥⑦フレンズクレープについての希望理由は、牛乳・卵・小麦が不使用のスイーツのため、アレルギーを持つ児童も安心して食べることができるためである。現在、ヨーグルト味が選定されているが、違う味も食べたいという児童の要望もあり、希望した。味のバリエーションが増えることで、セレクトデザート幅も広がると期待している。

【第1ブロック 瀧口栄養士】

第1ブロックでは、新規物資⑧冷凍ダイスゼリーを希望した。1か月2回3品

献立を提供している中で、3品目の幅広い活用方法として、このゼリーと缶詰のフルーツなどを合わせてフルーツポンチ風にしたり、1個のゼリーだと多いが少量のデザートとして提供したりできる。さっぱりとした味わいで、食欲が落ちやすい暑い時期や、ボリュームのあるおかずや揚げ物などの口直しとして提供したいと考え、希望した。

【事務局】

事務局からは、新規物資⑨⑩給食とんかつ、⑪しゅうまい（かながわ夢ポーク入り）について希望した。⑨⑩給食とんかつは、大きさが35gと50gの2種類あり、価格についても比較的安価で、3品目の物資として使用可能と考え、提案する。⑪しゅうまい（かながわ夢ポーク入り）については、以前、同等の物資が使用物資として選定されていたが、終売となり、別業者からの製造となり、新たな規格書が提出されたため、改めて提案した。

○ 栄養教諭・栄養士の代表より、新規物資についての意見

【第5ブロック 飯島栄養教諭】

各ブロック代表から新規物資の希望理由について説明があったが、いろいろな視点からの希望理由があり、同意することも多かった。①たけのこ水煮（角切）については、細かいので、そばろなどにそのまま使用できそうで良い。②かえり煮干しについては、絶妙な大きさで、限られた予算の中で子どもたちに魚をたくさん出してあげたいと思いつつも縛られた予算内で難しい部分も多いので、それらを補う意味でも④鮭ボールなども含めて献立に上手に取り入れていけたら良いと思う。豆は丸いものだと思っていたが、③打豆も調理時間が短く、丸い豆にも抵抗がある児童も食べやすくなり、それが食べるきっかけのステップになれば良いと思う。また、献立の幅も広がればよいと思う。デザート類は、アレルギーフリーのため、何も食べられなかった児童も選択肢が増えて食べられるのは良い。予算も限られているので、サイズが小さくてもお手頃価格なものを使用できると良い。とんかつも3品目として、限られた予算の中で上手に使用出来たらよいと思う。

(3) その他

○ 栄養教諭及び学校栄養職員からこの場で伝えておきたいことについて

【第1ブロック 瀧口栄養士】

うちの学校は、小田原市3校目の自校炊飯を11月から開始した。2月からは有機米を使用している。作り立てのおかずと炊きたてのご飯が提供できているので、これによって食欲が増し、残菜も少なくなったと感じている。これからも温かいご飯を提供していきたい。

【第2ブロック 安積栄養士】

日々の献立作成にあたり、特に地場産物の活用に力を入れている。小田原は自然が豊かでおいしい食材がたくさんあるので、給食をとおして子どもたちに知っ

てもらいたいためである。例年3月に6年生のリクエスト給食を実施しているが今年のアンケート結果を見ると、アジのカリカリ揚げやサバフグの唐揚げなど、小田原の食材を使ったメニューがわずかでもリクエストに入っていたのでとても驚いた。小田原献立を実施する際には、給食の放送や給食時間の巡回なので地場産物について周知をしているが、子供たちにその小田原の食材の美味しさが伝わったと思うととても嬉しい。これからも地場産物を積極的に活用して、給食を通して子どもたちに小田原の食材の魅力を伝えていきたい。

【第3ブロック 中村栄養士】

下府中小学校でも、お魚に対する反応が子どもたちから今年度もたくさんあり、COTEさんからのかます棒や、サバフグ、サバフィーレ、かますフィーレを入れていただき、サバフグがすごく美味しかったという声があった。価格面で市から補助があったので、献立作成で魚の使用頻度について、今、サバがすごく値上がっていて使いづらいところもあったが、そんな時期にかます棒やサバフグへの補助が入ることで、献立も立てやすかったし、子どもたちからもサバフグが本当に柔らかくて、また食べたいというような声をたくさんいただいた。また切り身の値段がかなり上がっているの、今回新規物資で入った鮭ボールとか、あとは煮干しなどの魚もうまく活用しながら、来年度も献立作成ができれば良いと思う。

【第4ブロック 鈴木栄養教諭】

私が勤務している桜井小学校は、二宮の先生ととても繋がり深い学校で、2月にゆばの献立を入れていただき、その時に二宮尊徳先生の積小為大の話や日光市の繋がりについても話したが、6年生が修学旅行に行つて、日光との繋がりがすごく、たくさん勉強してから行き、また向こうでもゆばを食べたので、それをすごく喜んでくれたのが嬉しかった。来年は今度修学旅行の近くで実施していただけるということだったので、日光との繋がりが濃くなって良いと思う。中村先生も話していたが、COTEさんからお魚を入れていただいて、そこに補助をつけていただけたので、魚の献立のバリエーションも増え、子供たちも喜んでくれて良かった。来年も補助していただけるとありがたい。魚屋や八百屋が学校によって決められているため、そこからしかいただけないので、そうすると、単価がどうしても均一ではないところがあるので、この辺は市の方から業者へ働きかけをしていただきたい。

【第5ブロック 飯島栄養教諭】

5番目になるので、子供たちの感想が近いところがある。年度末なので、リクエスト献立について今年の終わりにアンケートを行った。子供たちの中で鰯のカリカリ揚げが上位で挙がっていた。それこそ梅丸ラーメンも2番に上がるぐらいで、低学年の児童よりも高学年の児童、繰り返し何度も毎年毎日食べている子がどんどん好きになってくつて、1年生とかだとやっぱり骨が当たつて嫌だとか、ちょっと酸っぱいとかだとかこういうのもあるが、繰り返し食べてくうちに、どんどん小田原のものが好きになり、そしてさらに、卒業する時にはリクエストにま

で書いてくれるというのは、とてもありがたいと思う。今年度は、サバフグやかます棒など、市の方から魚に関しては補助金をいただいて、お金のことを考えずに入れられたので、とてもありがたかった。栄養士の研究会で、夏休みかます棒を作る体験をしたので、その動画を流しながら、ちょうどその日に動画を流し、かますも今日これだよ、という話をすると、子供たちからかなりの反応があり、子供たちが食べながら見て、目の前に調理されたものがあるので、本当に残菜が少なく、その後、やはりリクエストにカマス棒が挙がってきた。なかなか家庭では食べたことないものでも、給食で食べたものが記憶に残り、6年あるうちにもう一度食べたいと思うという繰り返しだと思う。やはり給食の効果は子どもたちの中では頭に残って、効果的だということをととても感じたので、補助金をいただきながら、いろいろなものを食べさせたい。去年、小田原短期大学の梅の献立が好評で、ソースもその後も活用したので、いろいろな取り組みを繰り返し行い、子どもたちに浸透していくということを実感したので、継続してできると良い。

【共同調理場ブロック戸谷栄養士】

昨年度から、学校訪問が1回から5回に増えた。それで2年目になると、子どもたちも栄養士の名前と顔が一致して、学校に行くと話しかけてくれて、こういう献立が好きとか、この前の給食が美味しかったよと教えてくれて、子どもたちと情報交換をする機会が増え、給食に対する関心が高まっていると感じている。今年、小教研で小田原漁港に行った時のことを動画にまとめて、配送校の給食主任の先生とクラスルームを作り、そこで配信するという取り組みをやってみた。お昼の時間に流してもらい、子供たちに見てもらおうということ、魚への関心が高まったので、今後も継続してできたら良いと思っている。

【山王小 釘持校長】

今日はどうもありがとうございました。この選定懇談会、ここに参加させていただきとても楽しい気持ちで参加できて良かったと感じている。この新規物資で、また新しく献立のメニューが広がるのかということをしごく感じ、ワクワクした時間になった。スイーツも今回たくさん出ていて、セレクト給食でスイーツ部門があると子どもたちも楽しいのではないかと思った。栄養士の先生方も補助金の話をたくさん聞かせていただいて、うちの学校もそうだったと感じている。効果という話が出てきたが、鰹節の出汁も本当にこの出汁は、給食ならではだと思う。以前も話したが、1年生入学の時には出汁が食べられなくて、1年生の初めの頃は、給食も家庭とは違い全然食べられなかったのが、金曜日だけは1年生の方お手伝いに行っているが、1月になってこんなに食べるようになったの、というぐらい、おかわりの列に並んでいる。やはり本当に学校の味に慣れていく、そしておいしさが感じられるというのは、本当に栄養士の皆様おかげだと思っている。今後とも、どうぞよろしく願いいたします。ありがとうございました。

【酒匂中 藤原校長】

中学校は、この給食センターから運び出された給食だということで、先ほども

話したが、本当に給食が美味しくて、リクエストが以前よりもいろいろなバリエーションが出てきていると思う。満足感というか、今までは食器でなかった部分などいろいろな要件があるとは思いますが、食缶も保温性になり、明らかにスープも温かくなり、この冬場は本当に美味しい。冷えて教室に帰ってきて、体育でお腹減ったところで温かいスープが出てくると、やはりそういう意味で生徒の満足感も非常に上がっていると思う。昨日の校長会でも話が出たが、季節で今年はセルフ恵方巻きという形で出て、そういう季節のものも食育の大切な要素の1つだと思う。文化に根差したものがあるので、そういったところも踏まえて非常にありがたいと思っている。少し残念だと思っているのは、盛りやすくなったので、今まで本当の量は多分あの量なのだろうが、自分自身も食べてちょっとボリュームアップしたように感じている。以前のトレイで盛り切れなかった分がきちんと盛れるようになったので、そういう印象を受けている。中学生が食べる量だと、年配の先生方は量的に厳しいものがあるようで、職員室の残菜はむしろ増えたように見える。これが中学生の量で中学生には必要だよ、でも職員と分けているわけではないのでそうなるんだ、という形で見ている部分があり、年配の先生に食べてというわけにもいかないのに、ちょっと多いなと思いつつ食べている部分がある。でも教室の方行くと、以前までは、夕方部活などで、着替えて帰る生徒がお腹減ったとよく聞いたが、最終下校時間が早くなり、早めに帰っていることもあるのかもしれないが、最近はそういう声は聞こえてこない。やはり、空腹で帰るよりもきちんと満足して帰って欲しいという部分では違って来たと思っている。いつもありがとうございます。

【事務局】

皆様、ありがとうございました。それでは、令和8年度上半期一般物資、選択制物資、新規物資についていただきましたご意見を参考にさせていただき、決定をさせていただきます。3月には、各学校と栄養教諭の皆様、学校栄養職員の皆様に物資の価格表を送付したいと考えています。これで物資選定懇談会を終了させていただきます。ありがとうございました。お忘れ物のないようにお気を付けてお帰りください。

7 閉会